



# 祝 友好都市提携30周年

蒲郡市は、沖縄県浦添市と友好都市提携を結んで今年で30周年を迎えました。そこで、今号では、30周年を記念して行われたさまざまな行事をご紹介します。



中央公園でシークァーサーを植樹

蒲郡市・浦添市友好都市提携三十周年記念樹

浦添市との友好関係は、愛知県が昭和37年に愛知県出身の将兵の霊を祭る「愛国知祖の塔」を浦添市に建立したことがきっかけとなっています。昭和41年に蒲郡市が、愛知県から行政事務合理化実施市として浦添市に紹介されて以来、本土復帰以前の米軍統治下における厳しい渡航制約の中、事務研修として職員が蒲郡市へ来たのが交流の始まりです。

昭和47年5月の沖縄本土復帰以来は、両市長・議員らの視察、児童のスポーツ交換など、産業および教育面でも交流が行われ、昭和56年11月4日に友好都市提携の調印式が行われました。

提携以後、毎年2団体の受け入れ・派遣の交流を相互に行っていますが、今年度は30周年記念として、「第34回浦添でだこまつり」に蒲郡市シニア吹奏楽団を派遣し、「第29回蒲郡まつり」に浦添市青年連合会が訪問し、交流しました。また、両市において記念植樹が行われ、浦添市で桜を、蒲郡市でシークァーサーをそれぞれ植樹しました。

さらに、災害時に両市民が的確な情報を取得できるシステムを構築するため、「災害時の情報発信に関する応援協定書」を締結しました。



企画広報課 ☎66♦1145